

栃聾 ICT 通信

はじめに

栃聾情報係です。今回この「栃聾 ICT 通信」で、授業でどのように ICT 機器が活用されたり、子どもたちはどのように ICT 機器を使って学習したりしているのか等、ICT に関連する様々なことについて情報をお伝えします。



中学部・理科/タブレット端末を用いてレポート作成のための資料撮影をしています。



小学部・総合/タブレット端末を用いて、ローマ字表で確認しながら、野菜についての調べ学習に取り組んでいます。

オンライン活動も分かりやすく！

栃木県立聾学校が、パナソニック教育財団の「2023年度（第49回）実践研究助成」の助成校になりました。

『様々なケースにおけるオンライン活動で、誰もが主体的に関われることを支援する高性能 Web カメラの活用～皆が「見える、聞こえる、もっと分かる」オンライン活動の実現を目指して～』というテーマで ICT の研究に取り組んでいます。高性能な Web カメラを使用してオンライン活動を行うことで交流やオンライン研修等で今まで以上にお互いに分かりやすいオンライン活動を行っています。



高性能 Web カメラ/Web カメラ本体に、2本のケーブル（電源と USB）をつなぐだけの簡単接続。4K 画質カメラ、ノイズキャンセリングマイク、20W 高出力スピーカー等の機能をカメラがオートで調整します。



高等部・委員会（交流）/電子黒板機能付きプロジェクターに Zoom を投影し、Web カメラを用いて他校の生徒と打ち合わせをしています。

ICT 機器の活用について

ICT 機器の活用例を紹介します。

①高輝度プロジェクター：従来使用していたものよりも明るいプロジェクターを集会等で使用しています。暗幕を使用せずに、明るい室内で情報保障を行うことができるようになりました。また、換気等も行いやすくなりました。

②電子黒板機能付きプロジェクターと書画カメラ：手元の資料を大きく鮮明に移すことで、視覚的に理解しやすくなりました。さまざまな学習で活用しています。



集会/高輝度プロジェクターを使用することで集会等の情報保障を明るい室内で実施しています。



中高・総合/文化活動（将棋）で、電子黒板機能付きプロジェクターに、書画カメラで将棋盤を投影し、詰将棋の説明をしています。

学部での ICT を使った学習

幼稚部



iPad や GIGA タブレットを電子黒板機能付きプロジェクターにつないで使用しています。朝の会や普段の会話の中で、分からない言葉が出てきた際に、すぐに子どもたちに写真やイラストを提示することができるため、語彙の拡充に役立っています。

また、季節の歌を歌う際に、YouTube 等でイラストつきの動画を見せることで、歌詞のイメージを共有できるよう工夫しています。

小学部



小学部では、タブレットを使用して「コードモンキー」というプログラミングの基礎となる学習をしています。

直感的な操作で出来るので、子どもたちが自分で考え答えを導き出したり、ヒントをもとに答えにたどり着いたりする様子が見られました。動画やアプリを使った学習はいろいろなクラスで取り入れられています。

中学部



中学部では、道徳の授業でロイロノートを使って学習をしました。「社会参画、公共の精神」をテーマに家事にはどのようなものがあるのかロイロノートで意見を出し合いました。夏休み中に自分が決めた家事を実際に行い、それぞれロイロノートで意見をまとめて発表し、最後はそれぞれの立場での役割について考えることができました。

高等部



高等部では、ICT 機器を活用した情報保障について学習しました。

UD トーク等の字幕表示のコミュニケーションアプリの使い方を確認したり、リモートを行う際の Web カメラやアプリの使用方法について確認したりする活動を行いました。

おわりに

『タブレット端末は文房具』を合言葉に、本校での児童生徒（小学部、中学部、高等部）による 1 人 1 台タブレット端末の積極的な活用が進んでいます。児童生徒たちの PC スキルが向上してきており、タブレットで出された課題等に積極的に取り組む様子が見られています。

また、PC 操作等の基礎基本的な学習だけでなく、ネットトラブル等の事件の被害者にも加害者にもならないように、情報モラルや情報セキュリティ等の学習にも取り組んでいます。

今後も継続して、新しい時代に向けて児童生徒にとって必要な学力をつけるために、ICT 機器の活用をさらに推進していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。